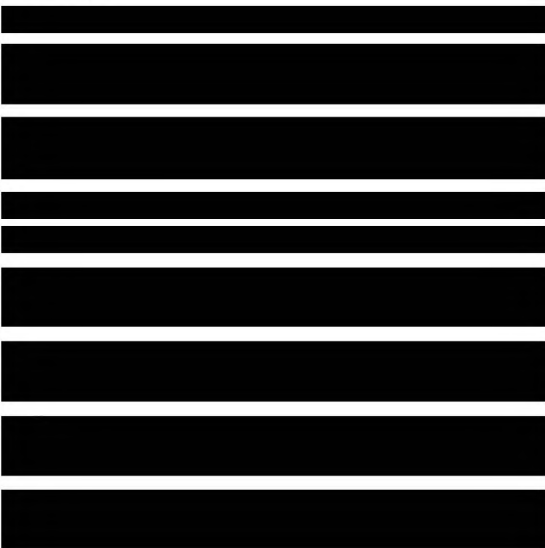


○山田 洋著『水草百科 下巻』(発行 ハロウ出版社、
発売 星雲社、1986年7月、159頁、1,800円)

「アクアリウムに水草を取り入れ、水草を中心とした楽しみ方は、水槽を水草で飾りつけるディスプレイとしてスタートしました。その後、より長く水草を育て続ける努力がなされるかたわら、水草自身の持つ美しさと生育する姿と、アクアリストの豊かな発想・感覚との融和がアクアートという言葉で表わされるまでに昇華しました。」著者は、アクアートをこのように位置づけておられる。水草の育成を楽しむだけでなく、「植物を身近に取り入れて芸術の香り高い趣味」としてのアクアートを創造しようとしておられるのである。単に興味にとどまらず、将来はひとつの職業として成り立つ可能性も夢に見ておられる。そのことを理解していただくには、本書で紹介された多くの「作品」をご覧いただくのが一番早い。

第一章は、「アクアートの鑑賞」で、具体的な作例と解説からなる。第二章は「水草の事典」と題し、42種類の水草の美しい写真と栽培条件についての説明がある。第三章は「アクアートの実際(育成・管理編)」で、実際にアクアートを試みる時のテクニック、心構えがまとめられている。(角野康郎)

○会員移動
<新入会>



○投稿のお願い

水草に関する報文、短報、資料、エッセイ等ふるって御寄稿下さい。

〔原稿の送り先〕 〒 657 神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部 角野康郎宛

○訂正とお詫び

前回の会報に同封して、新しい会員名簿をお届けいたしました。この名簿は、東京在住の松岡鈴子先生の御援助により作成できたものです。そのことを会報誌上に報告させていただいた際、先生が改姓しておられたことを存せず、田中先生と御紹介しました。当方の不注意をお詫びして訂正させていただきます。

〔編集後記〕

裏磐梯での全国集会も盛会裡に終わり、参加された方には印象深い会であったことと思います。今回は、当日の講演を中心に集録しました。御多忙中に原稿を寄せていただいた先生方に御礼申し上げます。原田市太郎先生の作詩になる「水草研究会の歌」も紹介しました。水草をこよなく愛してこられた原田先生の詩と、おおらかで流れるようなメロディーが調和して、心休まる曲となっています。

もう少し残暑が続いてほしいという私の身勝手な願いも裏切られ、足早に秋がやってきました。もう少し調査の時間がほしかったというのがいつわらざる気持ちです。皆様は如何でしたでしょうか。今夏の成果など、ぜひ会報に御寄稿下さい。お待ちしております。(K)

水草研究会会報 No.25 (1986年9月)
(Bulletin of Water Plant Society, Japan)

発行 水草研究会(神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学教養部生物学教室内)
編集 角野康郎
印刷 中村印刷株式会社
(神戸市灘区友田町3-2-3)